

文京区アカデミー推進計画に関する実態調査 概要版

1. 調査の概要

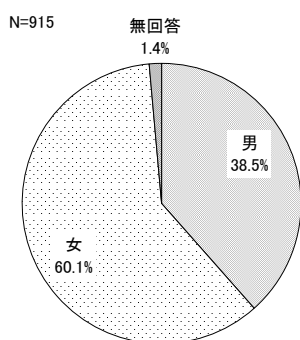
平成23年3月に策定した文京区アカデミー推進計画は、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光振興・国際交流に関する区の施策をまとめたものです。同計画の改定が平成27年度に予定されており、その改定に向けた基礎情報として、アカデミー推進計画が対象とする5つの分野に関する区民の意識や活動の実態を把握することを目的として実施しました。

また、新しい計画は、その計画期間中に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを踏まえ、オリンピック・パラリンピックに対する区民意識についても調査しました。

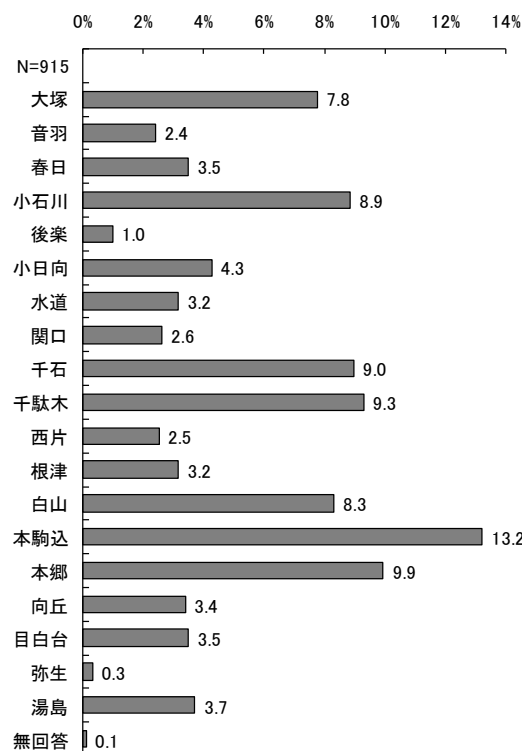
調査設計	◆調査対象	文京区在住の20歳以上の男女
	◆サンプル数	2,000名（抽出後に転居等で住所変更のあった人には発送せず）
	◆サンプル抽出	平成26年7月3日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	◆調査方法	郵送によるアンケート調査
	◆調査期間	平成26年10月2日から平成26年10月15日まで
	◆設問数	50問
	◆有効回収数	915件（発送数1,974件）
	◆有効回収率	46.4%

2. アンケート回答者の属性

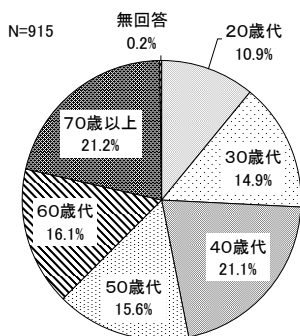
(1) 性別



(2) 居住地



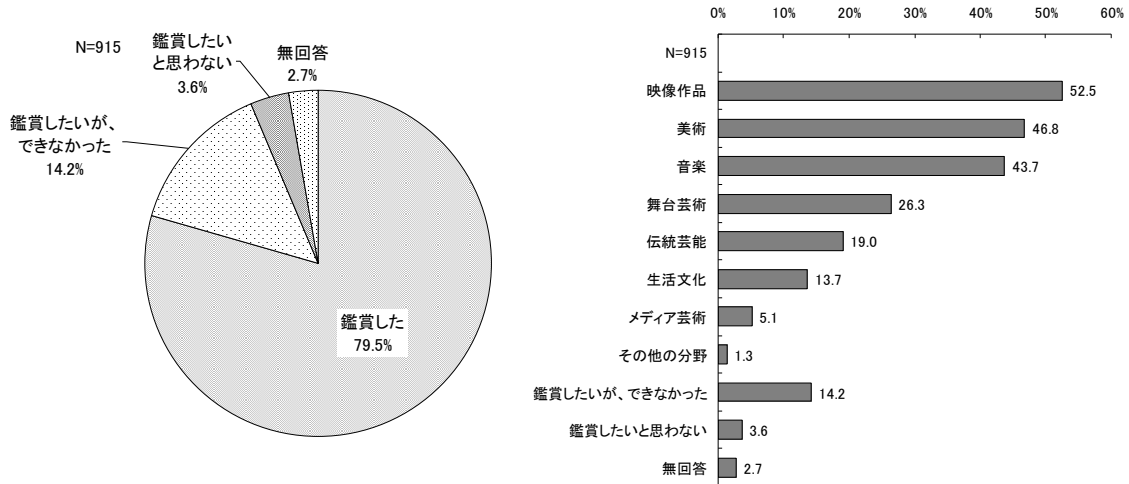
(3) 年齢



3. 文化芸術活動

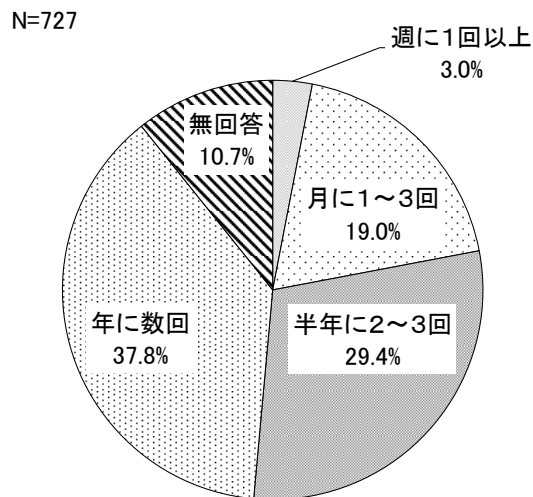
(1) 文化芸術の鑑賞状況

「映像作品」が52.5%と最も多く、「美術」が46.8%、「音楽」が43.7%で続きます。「鑑賞したいと思わない」人は3.6%と少なく、「鑑賞したいが、できなかった」人も14.2%となり、鑑賞した人（79.5%）の方が鑑賞しなかった人（17.8%）よりも多く、鑑賞に関心を持っている人まで含めるとほとんどの人が文化芸術に関心を持っています。



(2) 鑑賞頻度

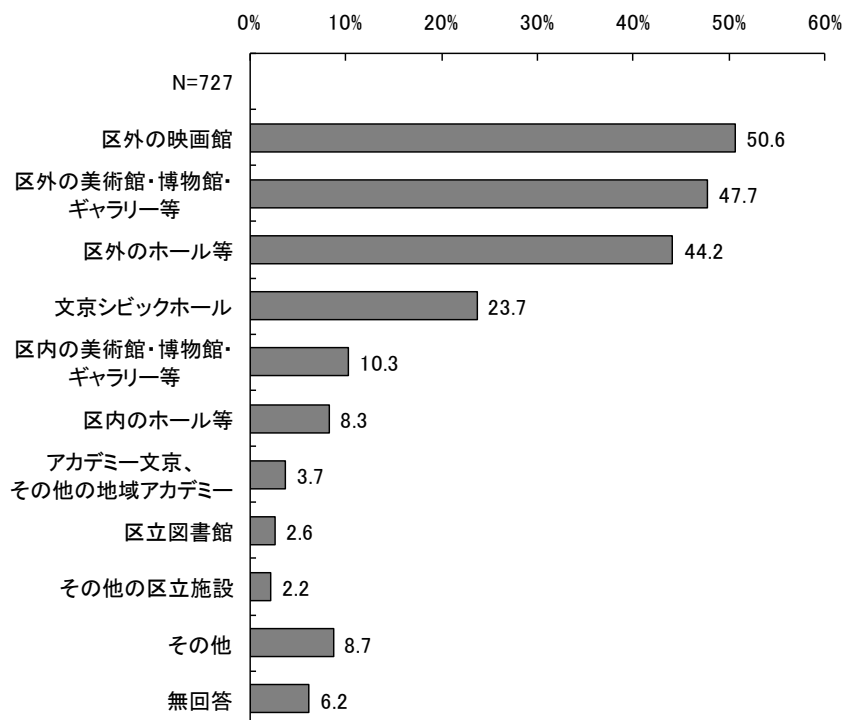
「映像作品」が52.5%と最も多く、「美術」が46.8%、「音楽」が43.7%で続きます。「鑑賞したいと思わない」人は3.6%と少なく、「鑑賞したいが、できなかった」人も14.2%となり、鑑賞した人（79.5%）の方が鑑賞しなかった人（17.8%）よりも多く、鑑賞に関心を持っている人まで含めるとほとんどの人が文化芸術に関心を持っています。



(3) 鑑賞場所

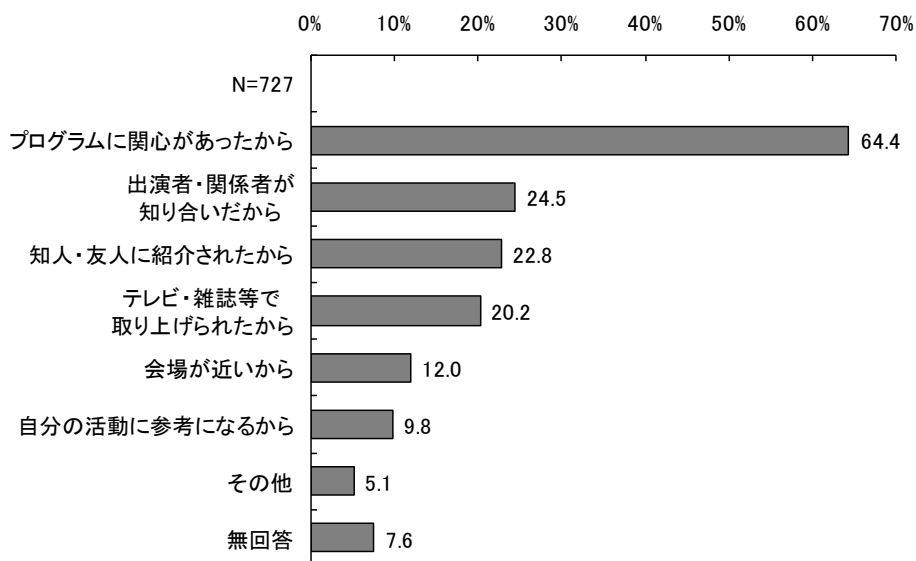
鑑賞した人のうち、「区外の映画館」が50.6%で最も多く、次いで「区外の美術館・博物館・ギャラリー等」が47.7%、「区外のホール等」が44.2%と続きます。概ね区外の施設が多く、区内施設では「文京シビックホール」が23.7%で最も多いです。

なお、区外の施設の利用が多くなるのは、区内よりも区外の方が文化芸術の施設が多いことに由来すると考えられます。



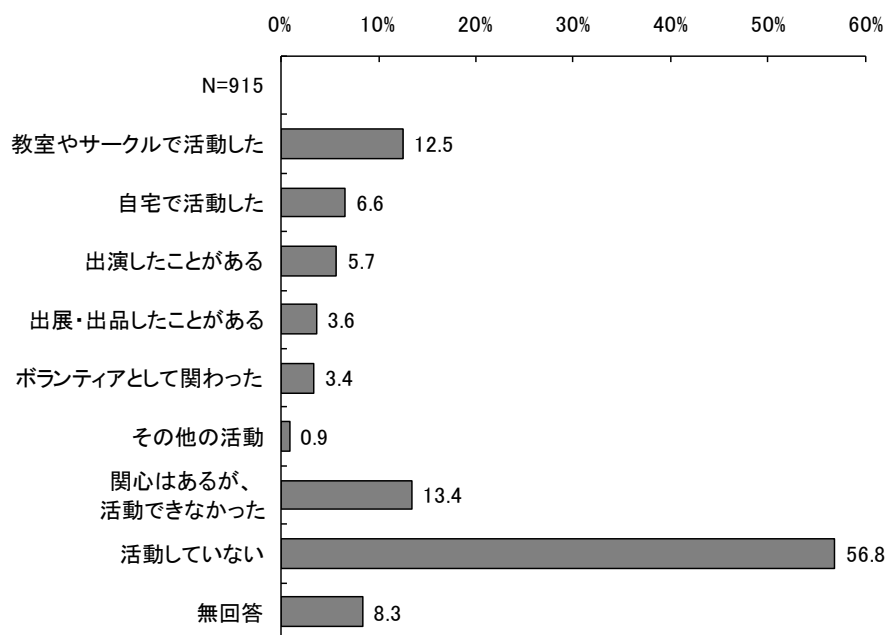
(4) 鑑賞理由

鑑賞した人のうち、「プログラムに関心があったから」という理由が64.4%で最も多く、次いで「出演者・関係者が知り合いだから」が24.5%、「知人・友人に紹介されたから」が22.8%、「テレビ・雑誌等で取り上げられたから」が20.2%で続きます。



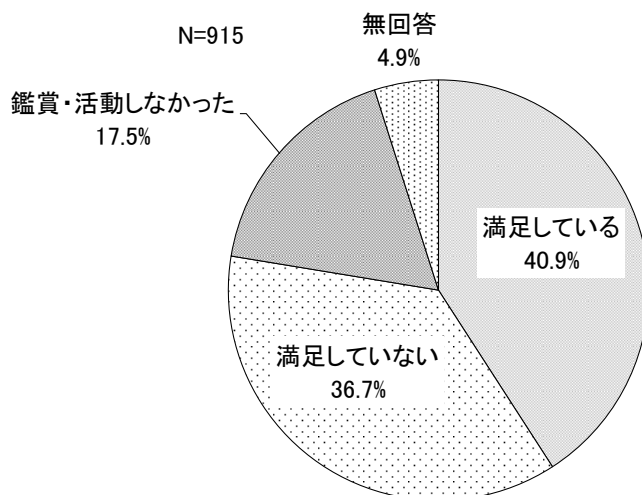
(5) 文化芸術に関する活動状況

「活動していない」人が56.8%で最も多く、次いで「関心はあるが、活動できなかった」人が13.4%で続きます。活動している人（21.5%）では、「教室やサークルで活動した」人が12.5%で最も多く、「自宅で活動した」人が6.6%で続きます。



(6) 満足度

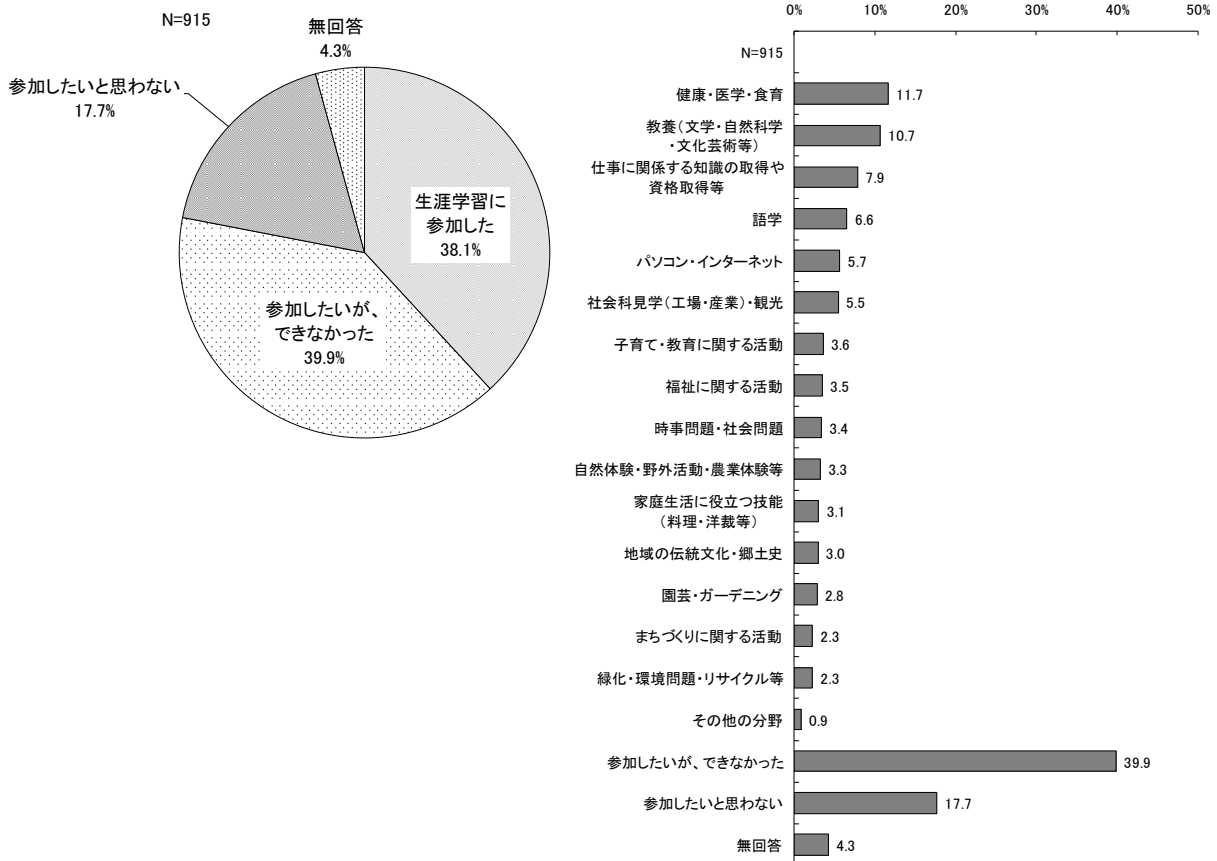
鑑賞・活動した人のうち、「満足している」人は40.9%、「満足していない」人は36.7%



4. 生涯学習活動

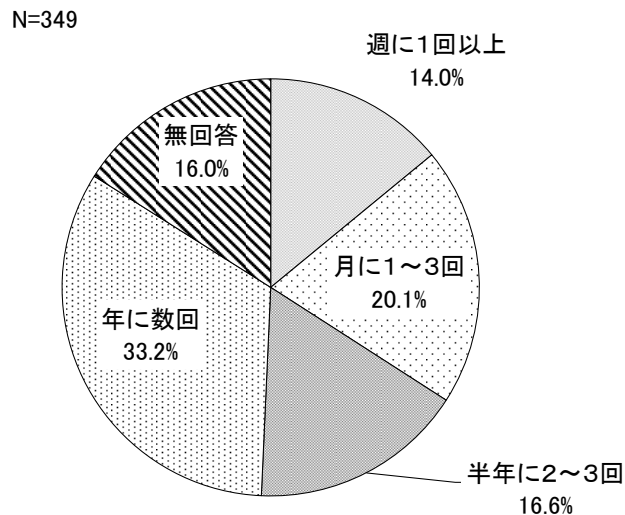
(1) 生涯学習への参加状況

「参加したいが、できなかった」が39.9%で最も多く、次いで「参加したいと思わない」が17.7%で続きます。8割近くの方が生涯学習に関心を持っていますが、その半数が生涯学習に参加できていません。参加した人(38.1%)のうち、「健康・医学・食育」が11.7%と最も多く、次いで「教養(文学・自然科学・文化芸術等)」が10.7%、「仕事に関する知識の習得や資格取得等」が7.9%で続きます。



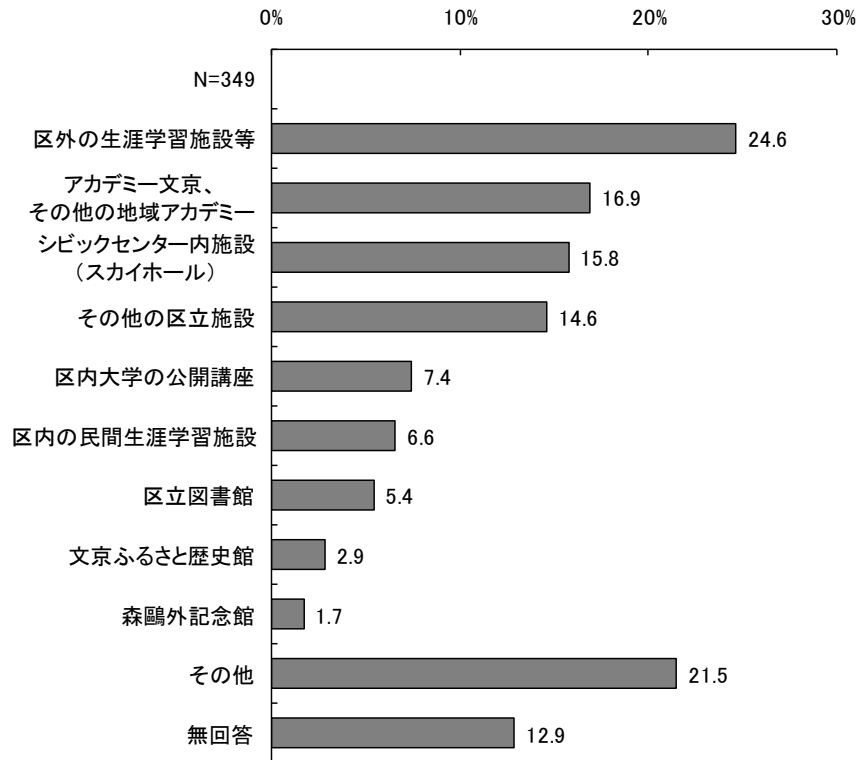
(2) 参加頻度

生涯学習に参加した人のうち、「年に数回」が33.2%で最も多く、次いで「月に1~3回」が20.1%、「半年に2~3回」が16.6%で続きます。



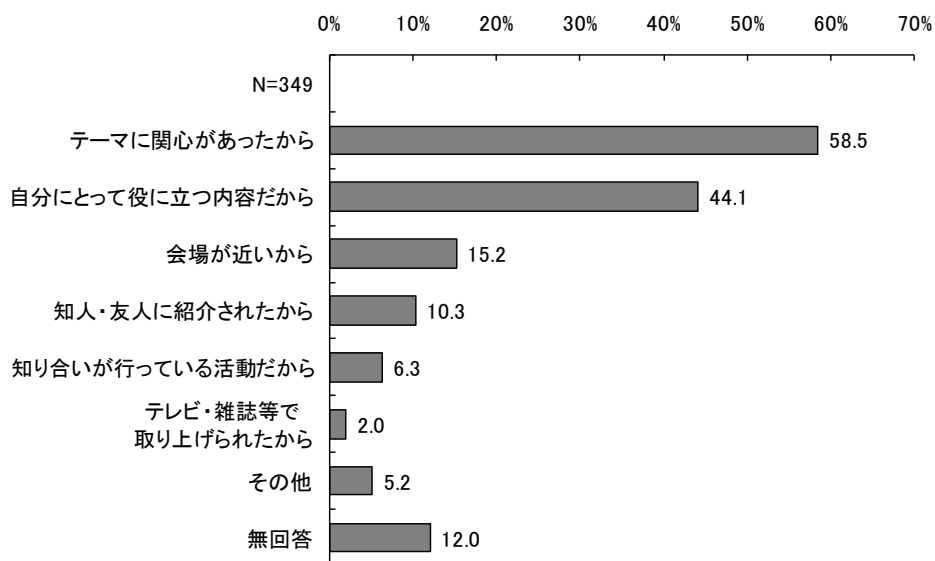
(3) 生涯学習に参加した場所

参加した人のうち、「区外の生涯学習施設等」が24.6%で最も多く、「その他」が21.5%で続きます。区内の施設では「アカデミー文京、その他の地域アカデミー」が16.9%で最も多く、次いで「シビックセンター内施設（スカイホール）」が15.8%で続きます。



(4) 参加理由

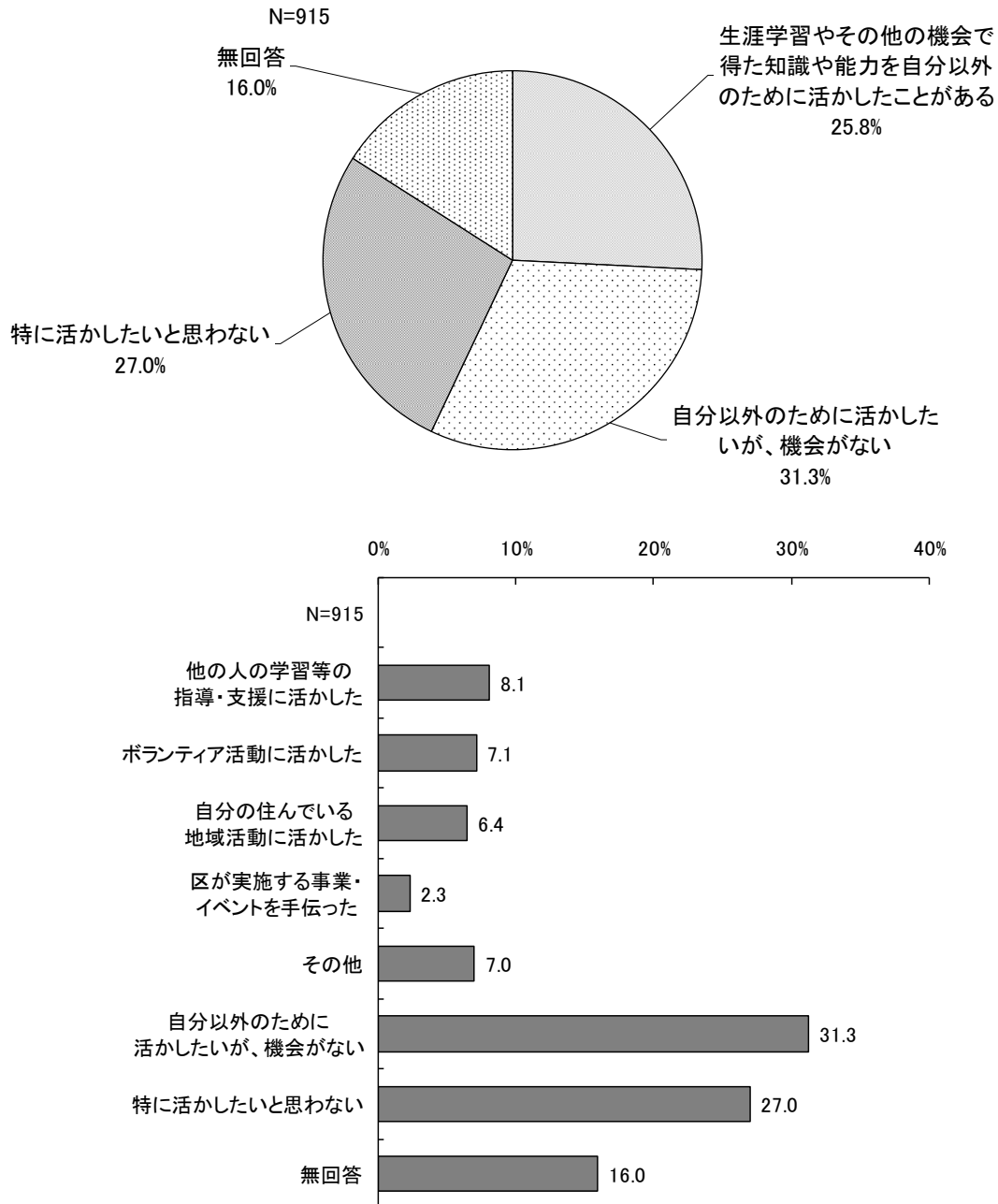
「テーマに関心があったから」が58.5%で最も多く、次いで「自分にとって役に立つ内容だったから」が44.1%続きます。



(5) 生涯学習の成果の地域への還元について

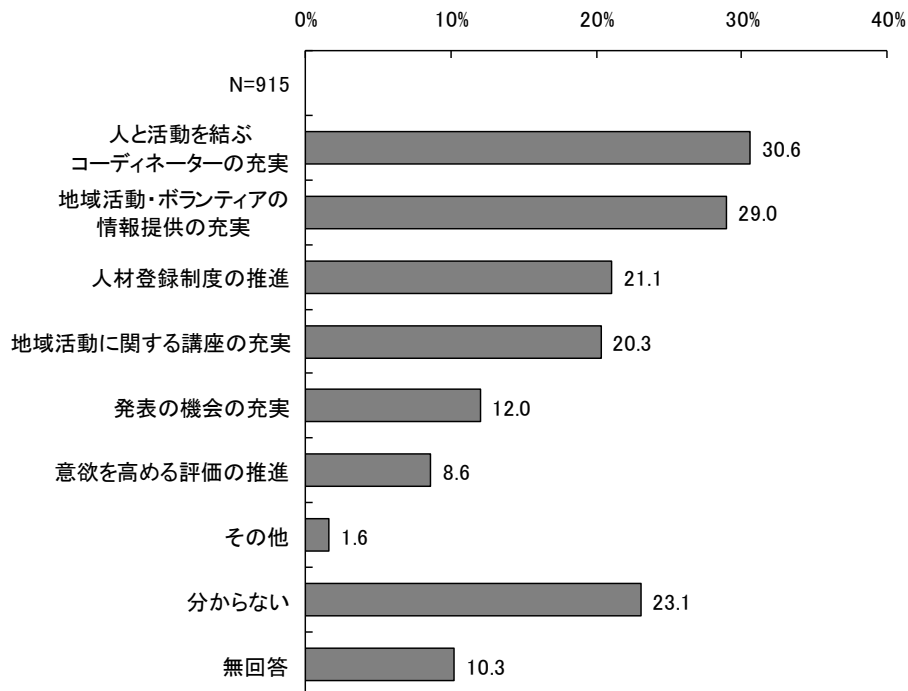
「生涯学習やその他の機会を得た知識や能力を自分以外のために活かしたことがある」が25.8%となっています。「自分以外のために活かしたいが、機会がない」が31.3%で最も多く、「特に活かしたいと思わない」人が27.0%で続きます。

実際に活かしている人のうちでは、「他の人の学習等の指導・支援に活かした」が8.1%と最も多く、次いで「ボランティア活動に活かした」が7.1%、「自分の住んでいる地域活動に活かした」が6.4%と続きます。



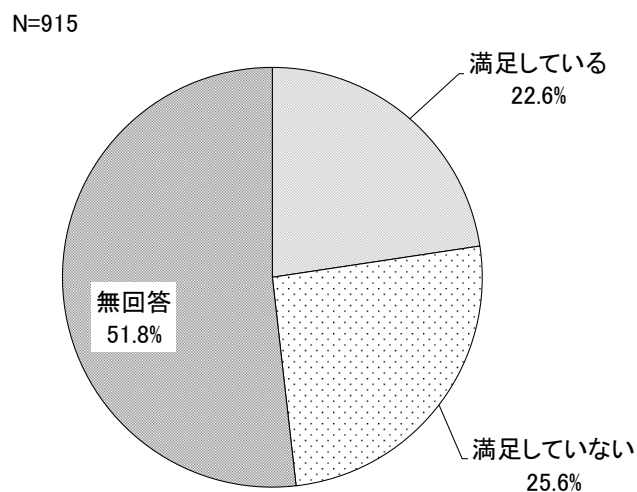
(6) 生涯学習の成果の地域への還元するために区の求める取り組み

「人と活動をつなぐコーディネーターの充実」が30.6%で最も多く、次いで「地域活動・ボランティアの情報提供の充実」が29.0%、「人材登録制度の推進」が21.1%、「地域活動に関する講座の充実」が20.3%で続きます。（「分からない」は除いています。）



(7) 満足度

「満足している」人は22.6%、「満足していない」人は25.6%となり、概ね半分ずつに分かれます。

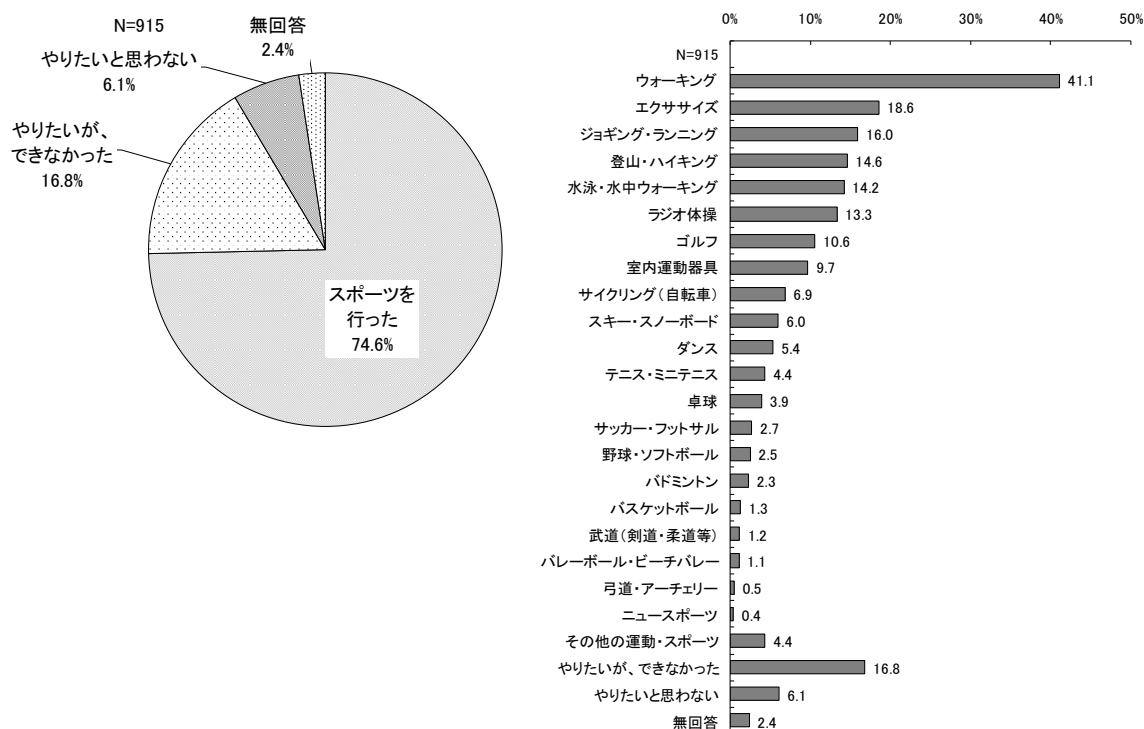


5. スポーツ活動

(1) スポーツの実施状況

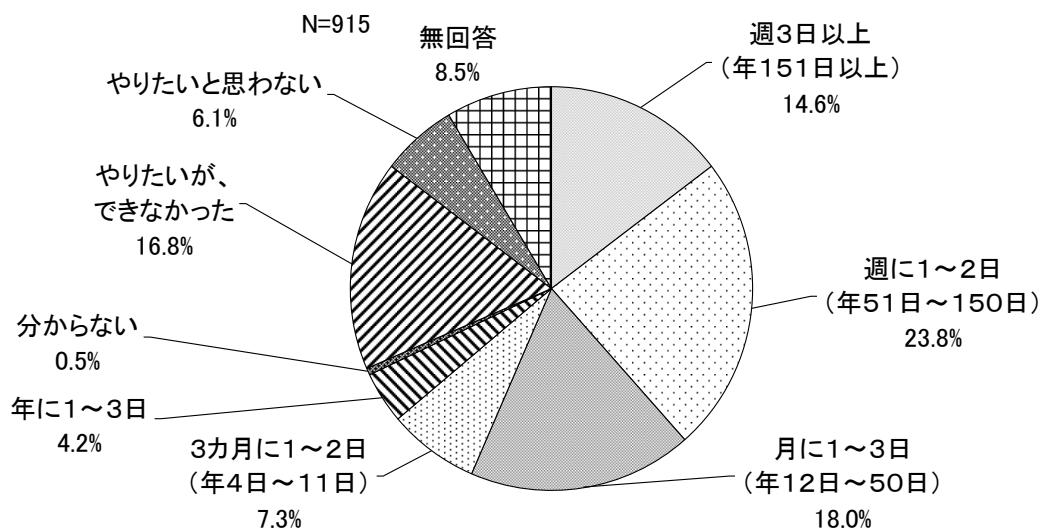
実際にスポーツを行った人は74.6%で、「やりたいが、できなかった」(16.8%)を加えると、ほとんどの人が運動・スポーツをすることに関心を持っていると言えます。

種目は「ウォーキング」が41.1%で最も多く、次いで「エクササイズ」が18.6%となっており、「やりたいが、できなかった」を超えています。その他、「ジョギング・ランニング」(16.0%)、「登山・ハイキング」(14.6%)、「水泳・水中ウォーキング」(14.2%)が多く、軽運動やレクリエーションが多いことが分かります。



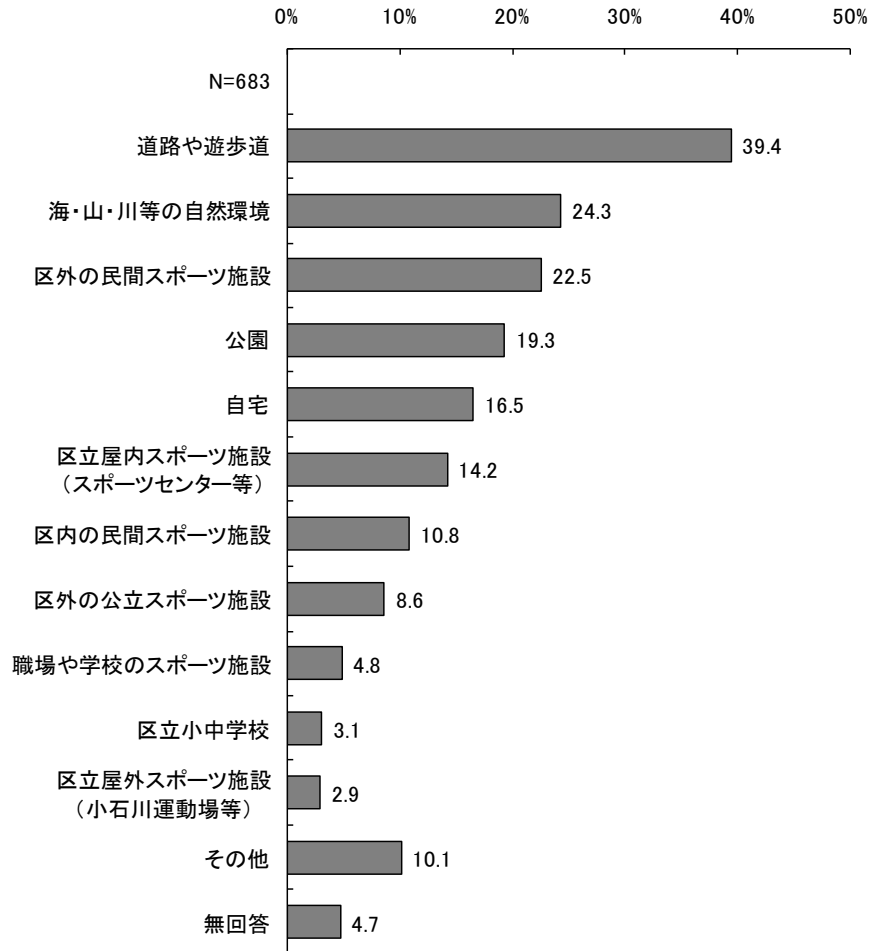
(2) 実施頻度

実施している人においては「週に1~2日(年51日~150日)」が23.8%で最も多く、次いで「月に1~3日(年12日~50日)」が18.0%、週3日以上(年151日以上)」が続きます。スポーツ実施率(週に1日以上スポーツをする人の割合)は38.4%です。



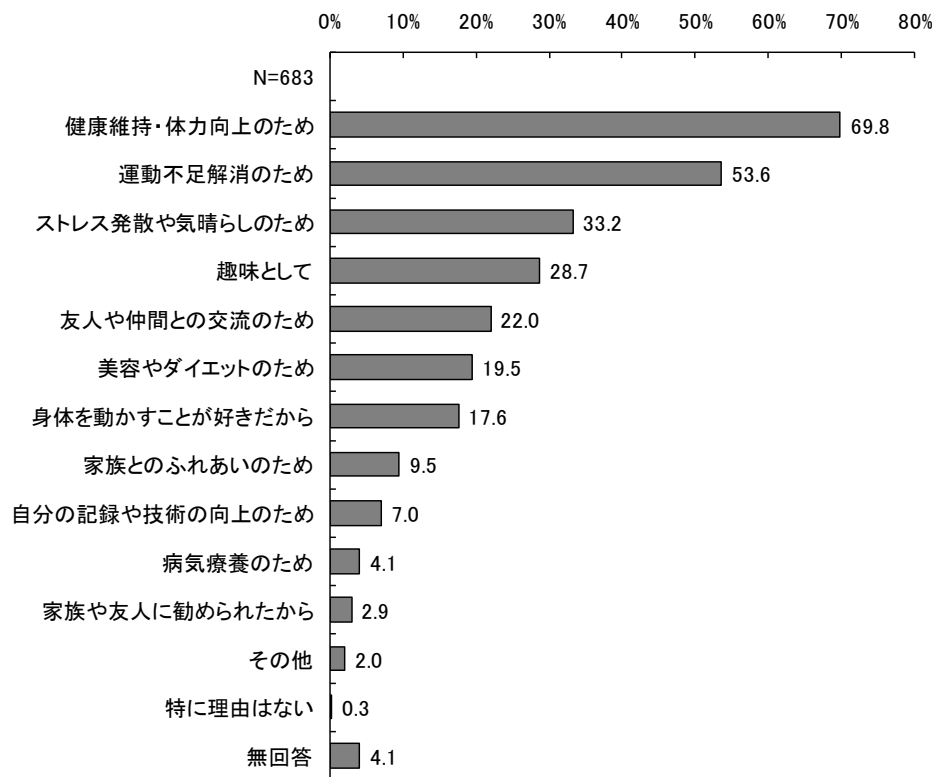
(3) スポーツをする場所

「道路や遊歩道」が39.4%で最も多く、次いで「海・山・川等の自然環境」が24.3%で続きます。これは、行われている運動・スポーツが「ウォーキング」「ジョギング・ランニング」「登山・ハイキング」が多いことに由来するものと言えます。施設では「区外の民間スポーツ施設」が22.5%で最も多く、次いで「公園」が19.3%、「区立屋内スポーツ施設（スポーツセンター等）」が14.2%で続きます。



(4) スポーツを行う理由

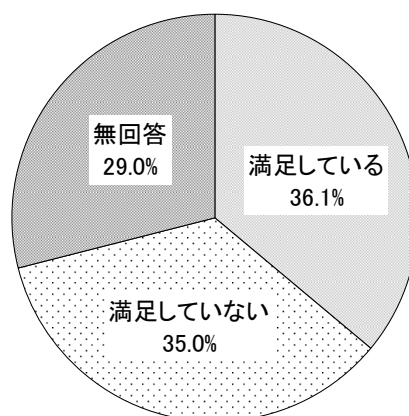
「健康維持・体力向上のため」が69.8%で最も多く、「運動不足解消のため」が53.6%、「ストレス発散や気晴らしのため」が33.2%で続きます。



(5) 満足度

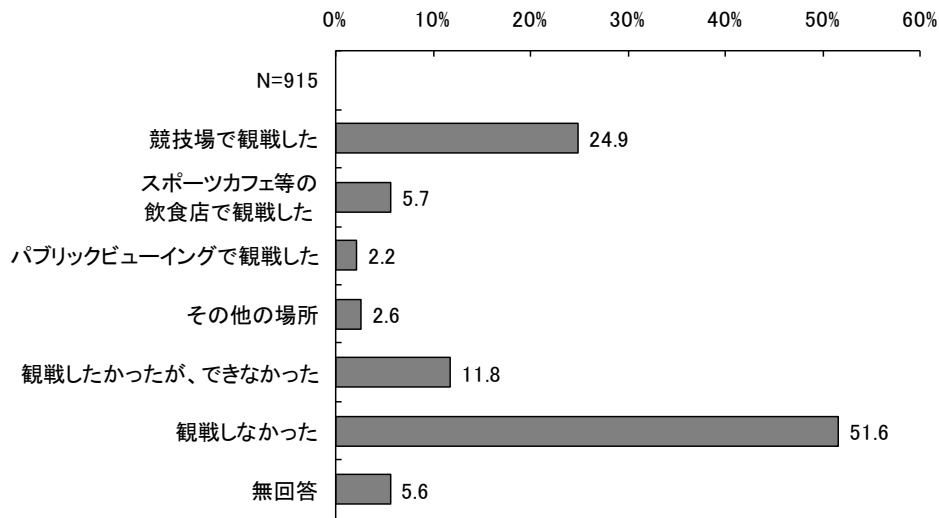
「満足している」人は36.1%、「満足していない」人は35.0%で、概ね半数に分かれます。

N=915



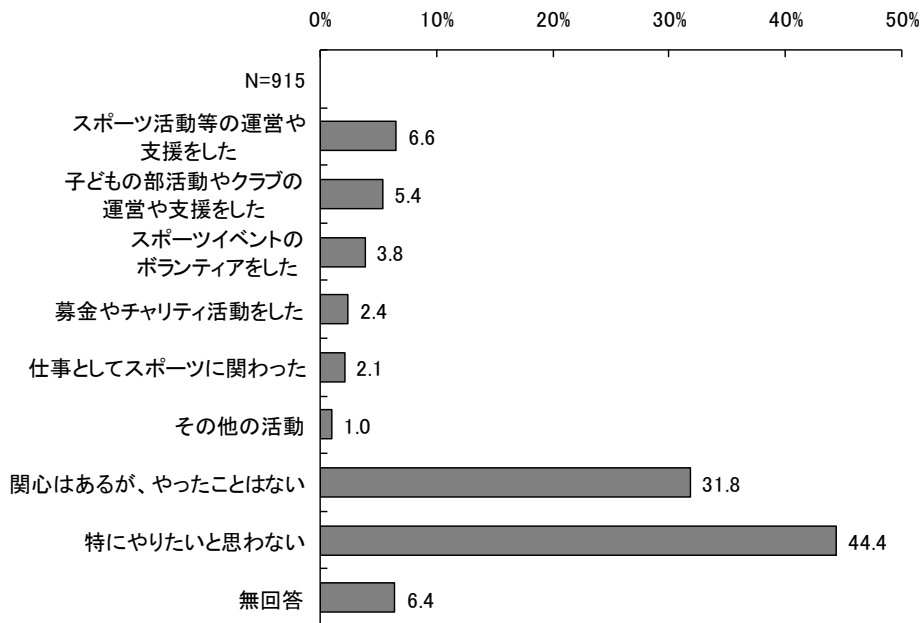
(6) 自宅以外でのスポーツの観戦状況

「観戦しなかった」人が51.6%と半数を占めますが、「競技場で観戦した」人が24.9%で続きます。「観戦したかったが、できなかった」人が11.8%います。



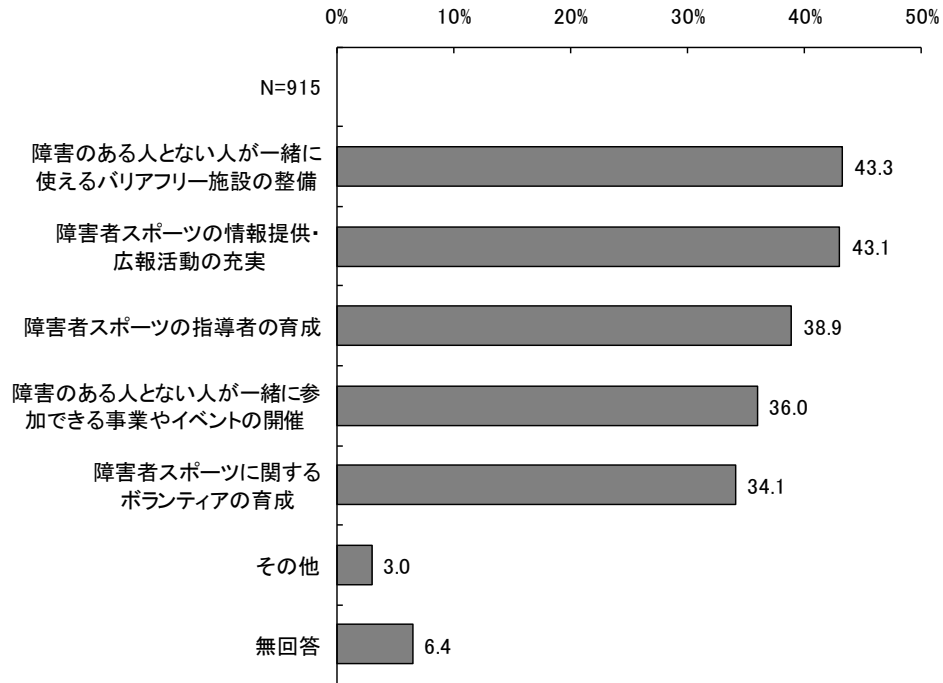
(7) スポーツボランティアの活動状況

「特にやりたいと思わない」人が44.4%を占め、次いで「関心はあるが、やったことはない」人が31.8%で続きます。実際にスポーツを支える活動をした人のなかでは、「スポーツ活動等の運営や支援をした」(6.6%)、「子どもの部活動やクラブの運営や支援をした」(5.4%)が比較的多く、具体的な指導や資金面での支援よりも、事業やクラブの運営面での支援が多いと言えます。



(8) 障害者スポーツに対する意識

いずれの選択肢も総じて3割を超えています。なかでも「障害のある人とない人が一緒に使えるバリアフリー施設の整備」(43.3%)、「障害者スポーツの情報提供・広報活動の充実」(43.1%)が多く選択されています。

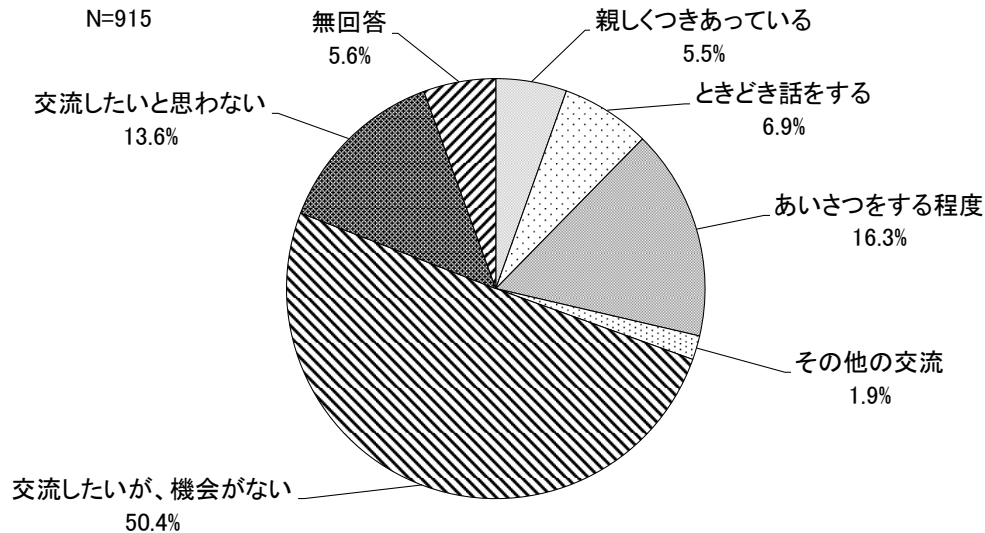


6. 国際交流活動

(1) 外国人との交流状況

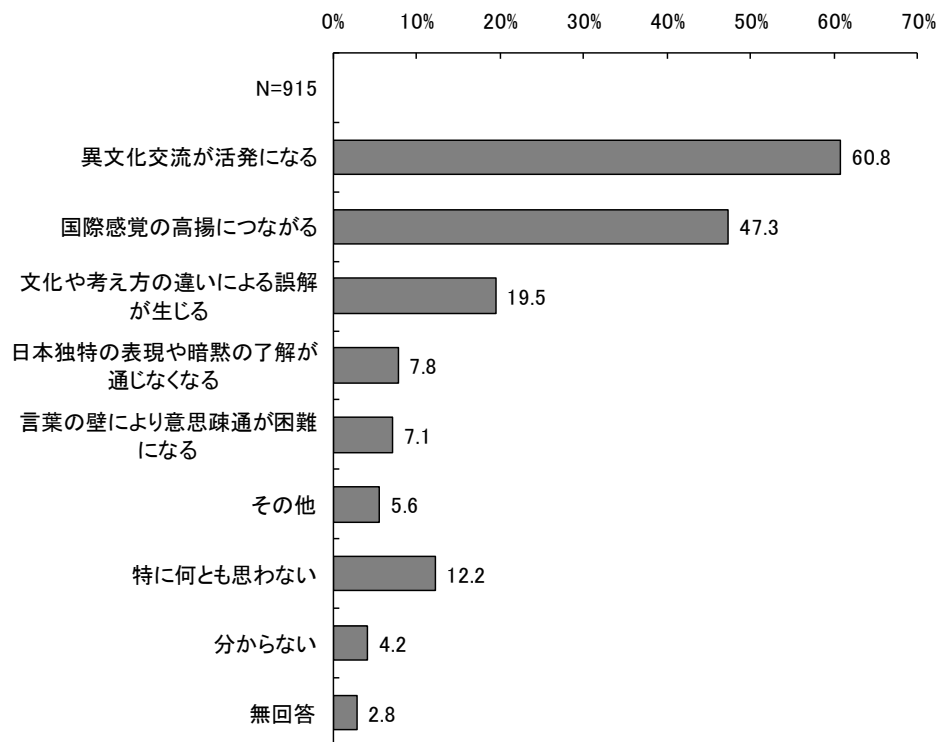
「交流したいが、機会がない」が最も多く50.4%を占めます。次いで「あいさつをする程度」が16.3%、「交流したいと思わない」が13.6%と続きます。

交流に関心がある人が8割を占めていますが、実際に交流している人が約3割、実行に移せていない人が5割を占めています。



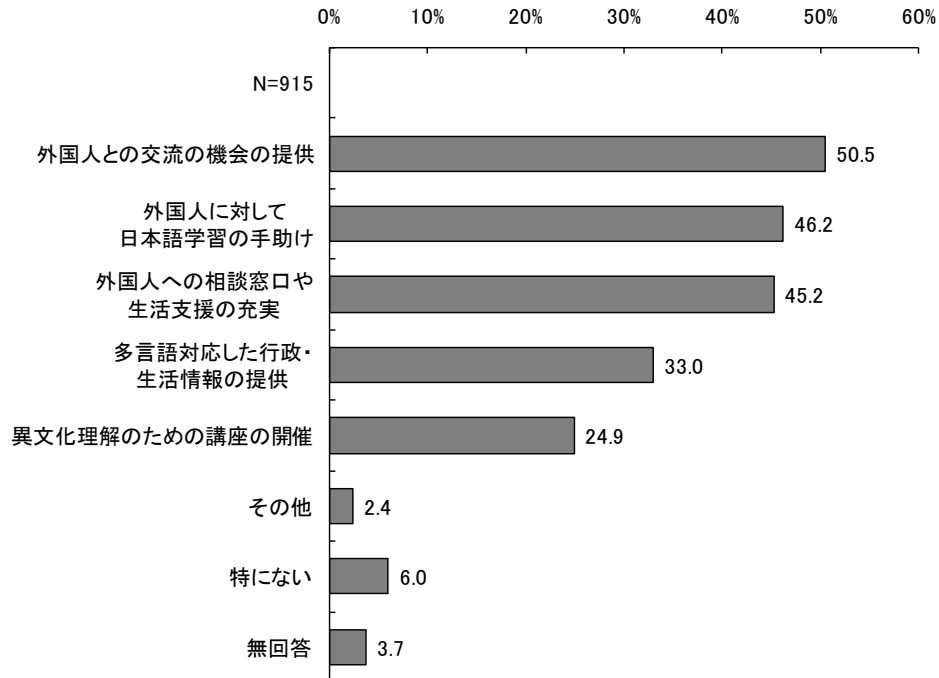
(2) 外国人居住者・観光客の増加に対する意識

「異文化交流が活発になる」が60.8%で最も多く、次いで「国際感覚の高揚につながる」が47.3%で続きます。



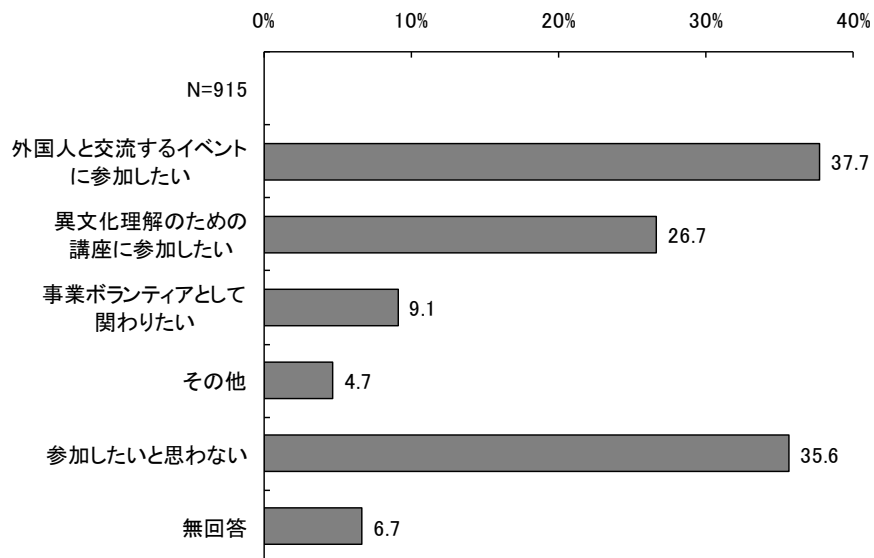
(3) 外国人との共生のために区に求める取り組み

「外国人との交流の機会の提供」が50.5%で最も多く、次いで「外国人に対して日本語学習の手助け」が46.2%、「外国人への相談窓口や生活支援の充実」が45.2%、「多言語対応した行政・生活情報の提供」が33.0%で続きます。



(4) 区が主催する国際交流に関する講座・イベントへの参加意向

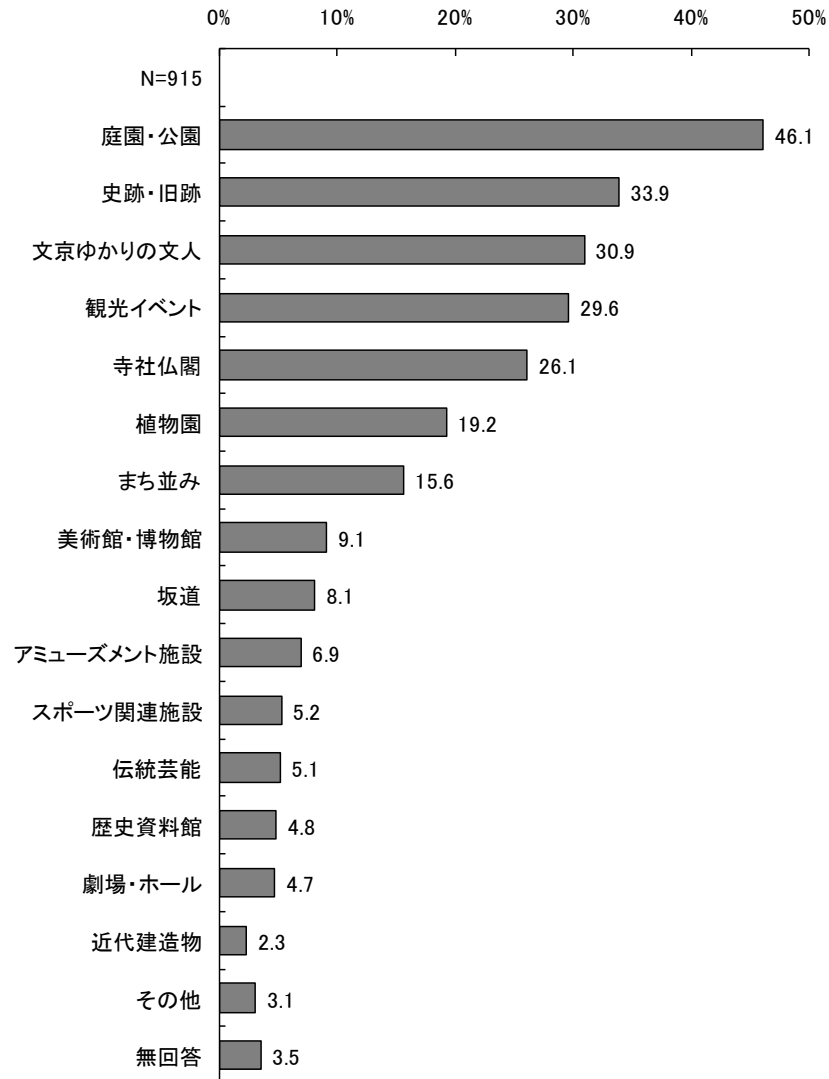
「外国人と交流するイベントに参加したい」が37.7%で最も多く、次いで「参加したいと思わない」が35.6%、「異文化理解のための講座に参加したい」が26.7%で続きます。



7. 観光振興分野

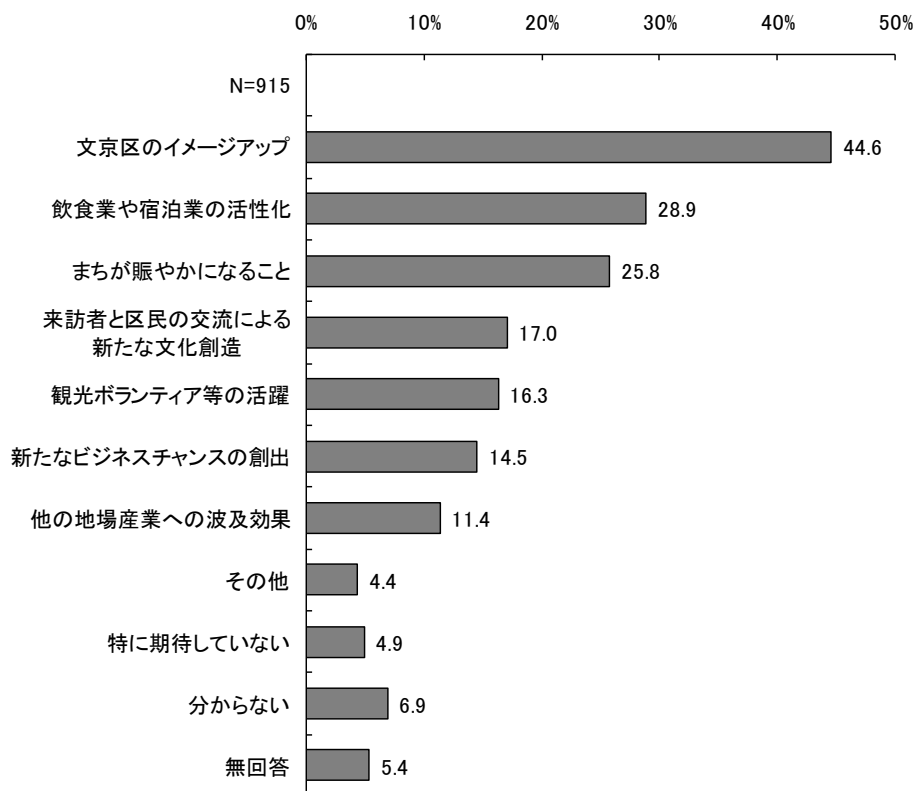
(1) 文京区の観光資源

「庭園・公園」が46.1%で最も多く、次いで「史跡・旧跡」が33.9%、「文京ゆかりの文人」が30.9%、「観光イベント」が29.6%で続きます。具体的な資源では、「谷根千」「六義園」「湯島天神」「東京大学」「小石川後樂園」が多く挙げられています。

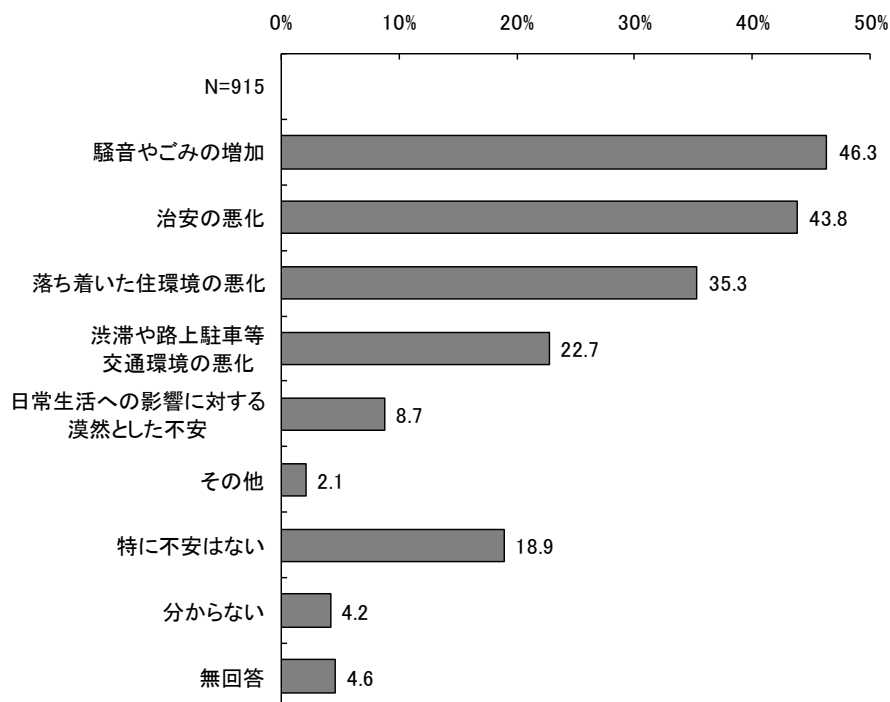


(2) 観光振興への期待と不安

期待に関しては「文京区のイメージアップ」が44.6%と最も多く、次いで「飲食業や宿泊業の活性化」が28.9%、「まちが賑やかになること」が25.8%で続きます。「特に期待していない」「分からない」「無回答」は合わせて17.2%にとどまっており、観光振興への期待が持たれていると言えます。

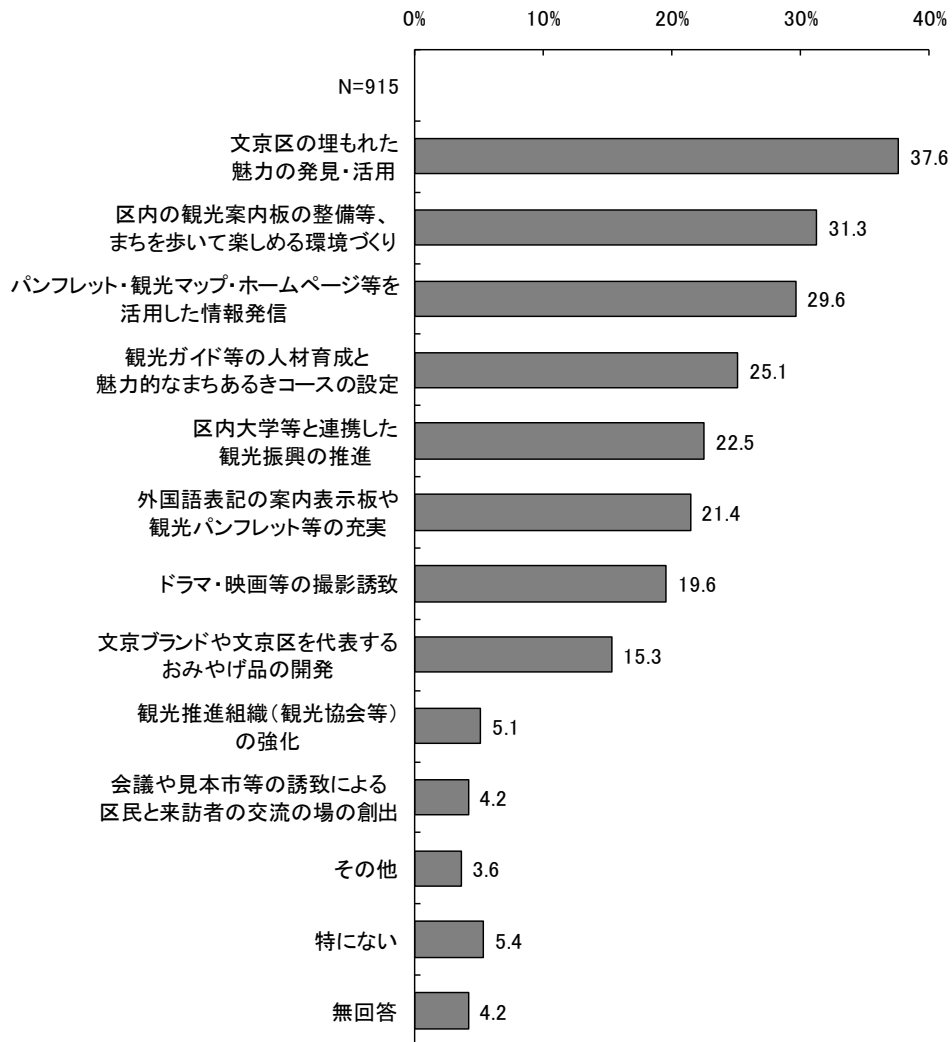


不安に関しては「騒音やごみの増加」が46.3%と最も多く、次いで「治安の悪化」が43.8%、「落ち着いた住環境の悪化」が35.3%と続きます。



(3) 観光振興に対して区に求める取り組み

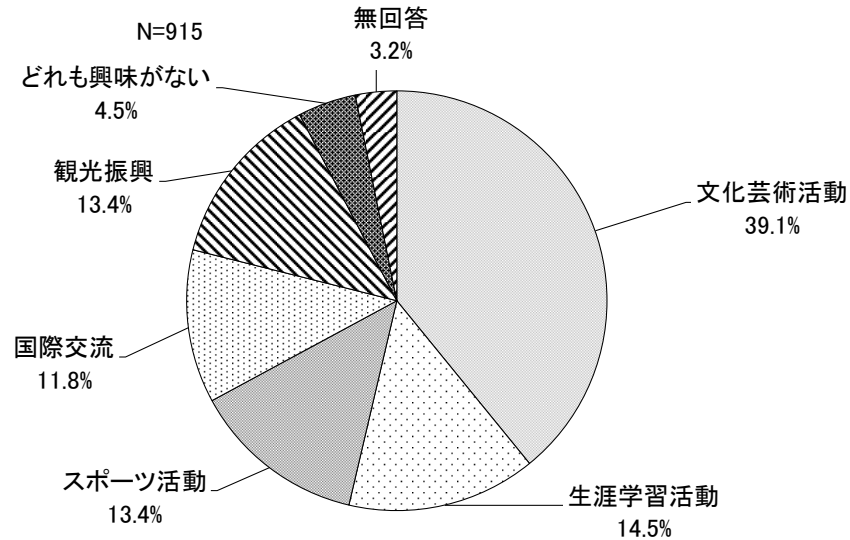
「文京区の埋もれた魅力の発見・活用」が37.6%で最も多く、「区内の観光案内板の整備等、まちを歩いて楽しめる環境づくり」が31.3%、「パンフレット・観光マップ・ホームページ等を活用した情報発信」が29.6%、「観光ガイド等の人材育成と魅力的なまちあるきコースの設定」が25.1%と続きます。



8. アカデミー推進計画全般

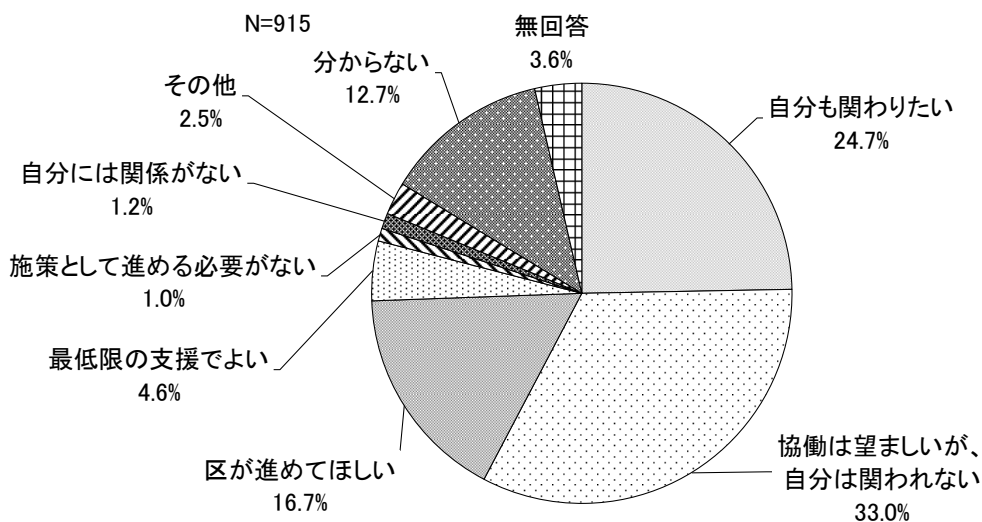
(1) 最も関心のある分野

「文化芸術活動」が39.1%で最も多く、次いで「生涯学習活動」が14.5%、「スポーツ活動」が13.4%で続きます。



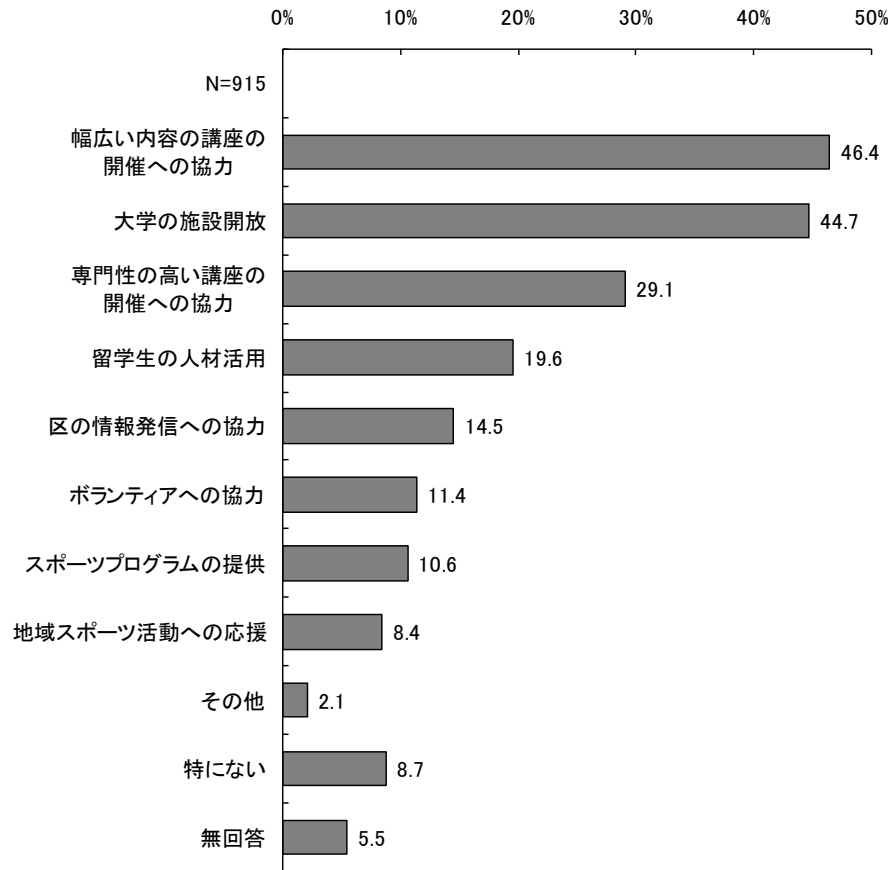
(2) 計画推進にあたっての協働への意向

「協働は望ましいが、自分に関われない」が33.0%で最も多く、次いで「自分も関わりたい」が24.7%で続きます。半数以上が区と区民の協働に対して前向きですが、「区が進めてほしい」という区主導を求める人が16.7%いるほか、「最低限の支援でよい」という区民に任せる方がよいと考える人が4.6%います。



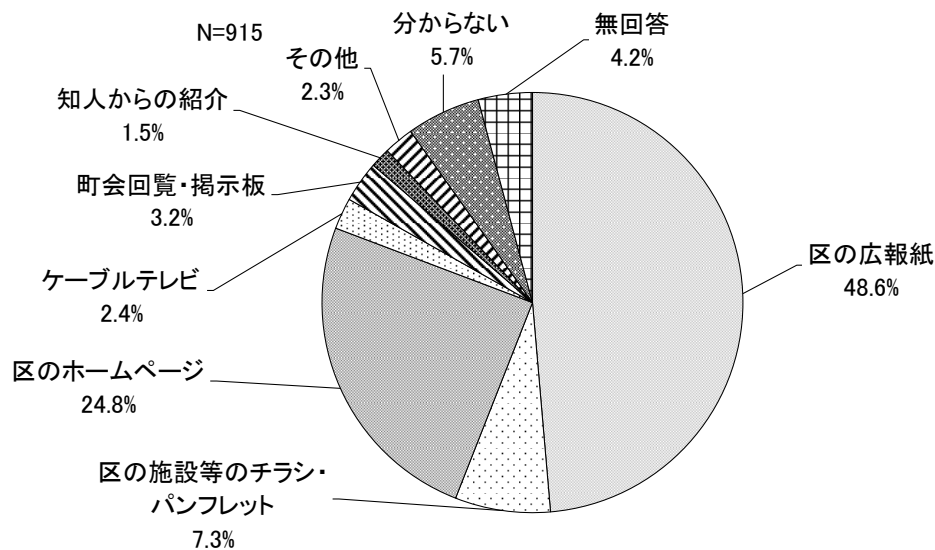
(3) 区内大学との連携に求めること

「幅広い内容の講座の開催への協力」が46.4%で最も多く、次いで「大学の施設開放」が44.7%、「専門性の高い講座の開催への協力」が29.1%で続きます。大学に対する要望では、専門性よりも幅の広さを求めていることが特徴的です。



(4) 情報収集のために充実を求める媒体

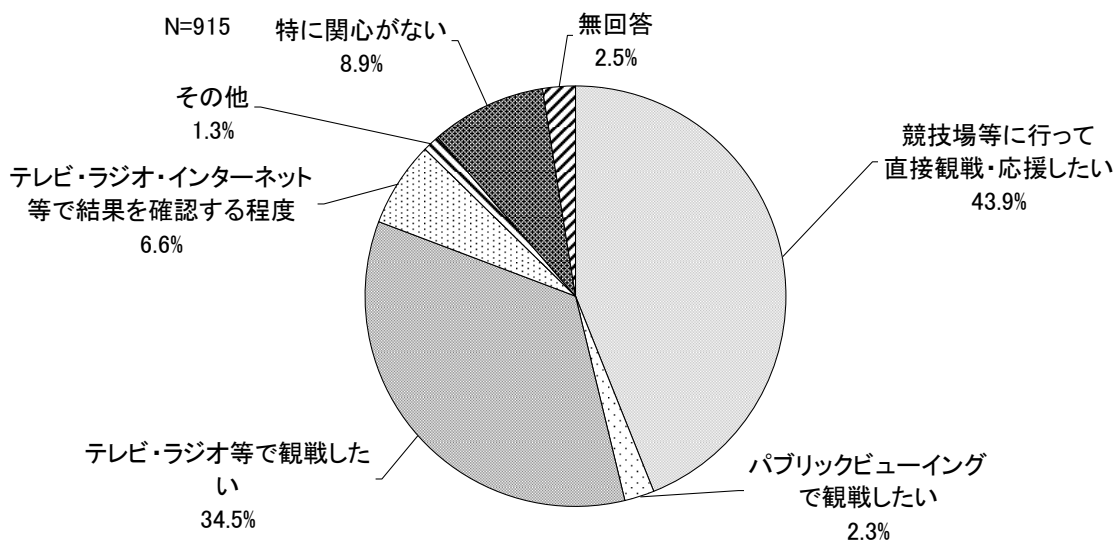
「区の広報紙」が48.6%で最も多く、次いで「区のホームページ」が24.8%で続きます。



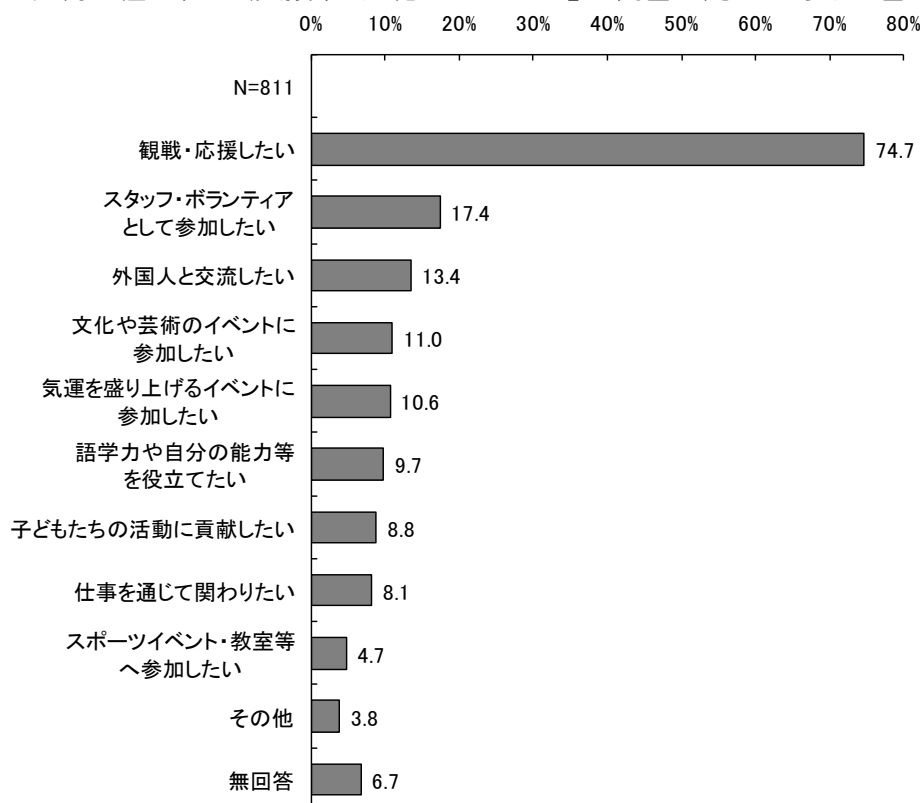
9. オリンピック・パラリンピック関連

(1) オリンピック・パラリンピックへの関わり方

「競技場に行って直接観戦・応援したい」が43.9%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ等で観戦したい」が34.5%で続きます。9割程度の方がオリンピック・パラリンピックに関心を持っていることが分かります。

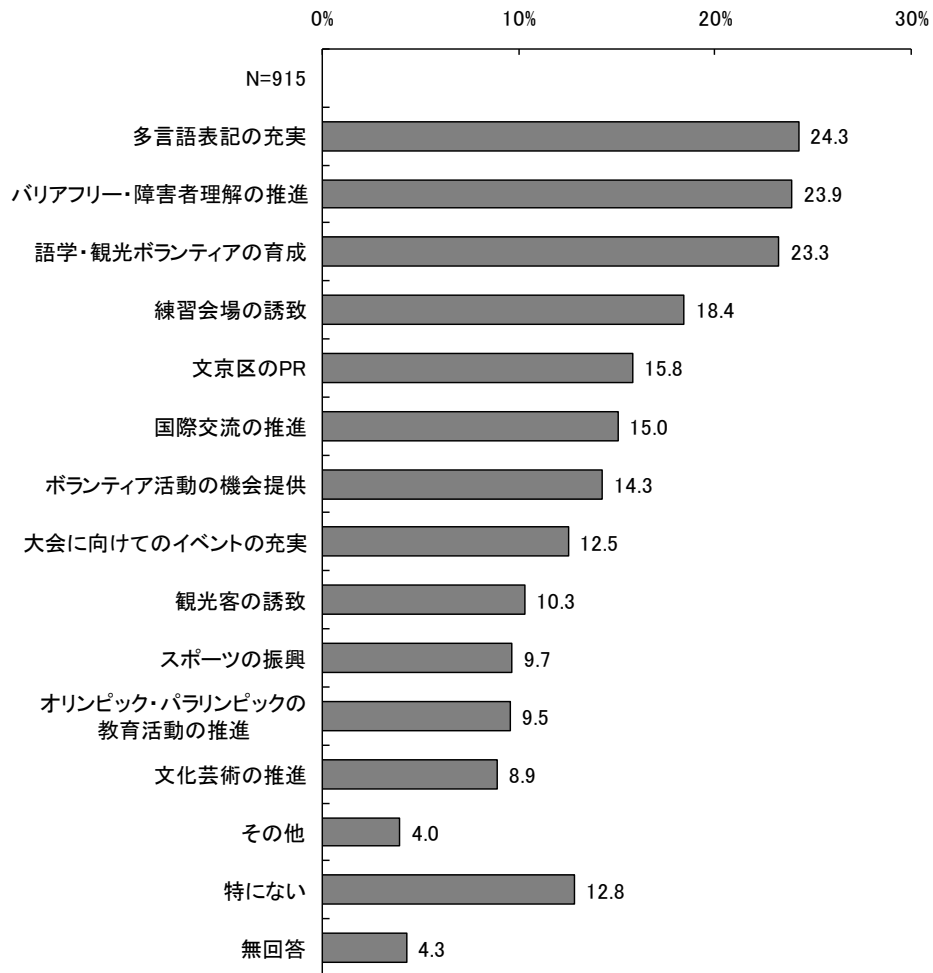


興味のある人においては、「観戦・応援したい」以外では、「スタッフ・ボランティアとして参加したい」が17.4%で最も多く、次いで「外国人と交流したい」が13.4%、「文化や芸術のイベントに参加したい」が11.0%で続きます。「スポーツイベント・教室等へ参加したい」が4.7%と低く、大会支援や「文化プログラム」の側面に興味があるとと言えます。



(2) オリンピック・パラリンピックの開催に際して区に求める取り組み

「多言語表記の充実」が24.3%で最も多く、次いで「バリアフリー・障害者理解の推進」が23.9%、「語学・観光ボランティアの育成」が23.3%で続きます。スポーツ振興や文化芸術の推進よりも、「おもてなし」やバリアフリーに関する取り組みに対する要望が多いことが分かります。



発行 文京区アカデミー推進部アカデミー推進課
所在地：〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16-21
電話 03(5803)1307 (直通) FAX 03(5803)1369
URL <http://www.city.bunkyo.lg.jp/>
